

STU48 メンバー、水上バイク免許取得！ 2

11月13日中国運輸局で「特殊小型船舶操縦士免許交付式」が執り行われ、引き続き土肥中国運輸局長と渡田中国運輸局次長と STU48 の座談会も行われました。

【座談会内容】

Q 水上バイクを運転した感想は？運転が上手かったと聞いている。

藤原：水上で障害がなく、楽しかった。練習は教える人が上手かった。

Q 藤原さんは海の女として将来は STU48 号の船長になれるのでは？

藤原：STU48 号の船長は荷が重い。

Q 小型船舶免許を持っていることでのメリットは？

藤原：ロケで船を使う機会が多くなったと思う。

Q 人生初の免許に水上バイクを取ろうと思ったきっかけは？

信濃：大阪のテーマパークのウォーターワールドで楽しそうだなと思ったから。

Q 免許を取った感想は？

信濃：勉強がきつかった。本当に受かるか心配だった。

Q STU48 号での 7 都市公演が終了。海の日では東京の晴海でも公演を行ったが、どうだったか？

藤原：大臣の前での公演でとても緊張した。



運輸局は「C to Sea プロジェクト」のアンバサダーの活躍により、より多くの世代にマリンレジャーの楽しさを伝え知ってもらうことができると考えています。

ただし、マリンレジャーの楽しさは海の怖さとも隣り合わせであり、マリンレジャーを楽しむ方達にはライフジャケット着用の重要性も認識してもらわなくてははいけません。

今回の交付式で藤原さんが手に持っていたのは、「うくぞうくん」というキャラクターで、「重くても沈まない」というビジュアルイメージを、親しみ、安心感のあるゾウで表現したライフジャケット着用推進のシンボルとなっています。

海中事故の際ライフジャケットを着用することで、生存率は3～4倍上がるともいわれています。今回の取組で海に興味を持った方達には彼女たちが PR した「うくぞうくん」にも目を向けてもらい、ライフジャケットの重要性に理解を得て頂けることを願います。

最後に「今後も瀬戸内海を健全に楽しく盛り上げること」を運輸局・STU48 双方で確認し合い、座談会を終えました。

